

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年2月14日

事業所名 留萌中部地域子ども発達支援センター

保護者等数：37人

回収集：11人

割合：29.7%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等スペースが十分に確保されているか	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	
	②	職員の配置や専門性は適切であるか	81.8%	9.1%	0.0%	9.1%	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	63.6%	0.0%	0.0%	36.4%	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(i)が作成されているか	81.8%	9.1%	0.0%	9.1%	
	⑧	活動プログラム(ii)が固定化しないよう工夫されているか	81.8%	9.1%	0.0%	9.1%	
	⑨	放課後児童クラブや児童館との交流や、放課後等デイサービス利用者以外の子どもと活動する機会があるか	9.1%	18.2%	9.1%	63.6%	
保護者への説明等	⑩	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と話し合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	
	⑭	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9.1%	27.3%	27.3%	36.4%	
	⑯	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか	72.7%	9.1%	9.1%	9.1%	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	63.6%	9.1%	9.1%	18.2%	
非常時等の対応	⑲	個人情報十分注意されているか	90.9%	0.0%	0.0%	9.1%	
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	45.5%	27.3%	0.0%	27.3%	
満足度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18.2%	27.3%	0.0%	54.5%	通所している時に災害があった場合、どこに避難しますか？
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

○この「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における放課後等デイサービス自己評価(公表)

公表：令和6年2月14日

事業所名：留萌中部地域子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		玄関、水回り等は混雑するので時間差で行動している
	②	職員配置数は適切であるか	○			利用が増えた時の対応として臨時的に職員が確保できるよう予算をつけてもらっている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		施設の老朽化により雨漏り等対応に苦慮している
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			取り組みや成果を振り返り、次の目標を設定し職員全員で取り組んでいる
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○			前年度の結果、個別で受けた要望等を踏まえ業務改善に繋げている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			リモート研修、出張研修ともに参加できた
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的な発達評価を実施し、保護者、関係機関と共に課題と目標、今後の関わりを基に計画を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社会生活能力検査を実施し、現在の状況を保護者と確認し支援計画に反映させている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年度初めに概要を立案し、月計画で詳細を決め実施している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達の状況やメンバー構成等に応じプログラムを設定している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			時間を延長し公共施設や交通機関の利用、買い物等の機会を設定している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			小集団活動を基本とし、子どもの思いを聞きながら状況に応じた関わりをしている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			個々の支援の目的に沿うよう時間配分や役割を事前に確認している
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			個々に日誌を作成し、変化した点や課題等を共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			同上
	⑱	定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年二回モニタリングを実施し保護者と状況確認し計画見直しを行っている
関係機関や保護	⑲	ガイドラインの総則の基本的活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			課題に応じ、全体的な発達成長を目指している
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者 担当保育士が出席
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎児の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			近況確認や今後の関わりについての役割分担等適宜行っている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
者との連携	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療機関にケース連絡を送付し今の状況を伝え支援についての助言をもらっている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			引継ぎ会議等で情報共有を図っている 家庭支援が必要なケースはより密に連携を取っている
関係機関や保護者との連携	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			実質的な関わりは小学校卒業で終わるのでケースは少ないが必要に応じ行っている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じ行っている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		○		デイサービスとしての参加はしていない 希望者は個々で参加している 他の集団への参加が苦手な児も多い
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○		関連案件、参加要請があれば参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援終了時に個々に口頭で伝えることや全体の様子は通信で知らせている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			日々の関わり方、生活面での支援等必要に応じ保護者と密に連携を図っている
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			重要事項説明書を取り交わしている
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談内容により他機関へ繋げるケースもある
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		同じ時間帯で利用している保護者同士がやり取りできるよう場面を設定している
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情が発生した場合は即対応するよう努めている
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月一回活動の目的や取り組みの様子等をお知らせしている 予定の変更が生じた時には臨時号を出している
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			書類の管理を徹底し十分に注意している
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子ども達の得意不得意に応じ理解しやすい方法に配慮している
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	予定はない
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所内に掲示し、定期的に確認している
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		定期的に実施
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員間で常に話し合いを持ち意識の向上を図っている
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		必要に応じ保護者と確認していく
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者への確認を実施している
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事業所内で確認し、共有化を図っている

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年2月14日

事業所名 留萌中部地域子ども発達支援センター

保護者等数：39人

回収集：16人

割合：41.0%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	②	職員の配置や専門性は適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(i)になっているか。また、子どもの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリーや情報伝達等への配慮が適切になされているか	81.3%	6.3%	0.0%	12.5%	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	87.5%	0.0%	6.3%	6.3%	・冬→建物の老朽化を感じます。子どもが裸足で遊ぶのが寒そうで心配になります。 夏→クーラー等の設置も検討をお願いします ・冬が寒すぎる。駐車場が砂利で不便。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(ii)が作成されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	93.8%	0.0%	0.0%	6.3%	
	⑧	活動プログラム(iii)が固定化しないよう工夫されているか	93.8%	0.0%	0.0%	6.3%	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、児童発達支援利用者以外の子どもと活動する機会があるか	75.0%	12.5%	0.0%	12.5%	
保護者 への 説明 等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(iv)等)が行なわれているか	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と話し合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	93.8%	0.0%	0.0%	6.3%	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	43.8%	25.0%	0.0%	31.3%	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	87.5%	6.3%	0.0%	6.3%	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18.8%	25.0%	6.3%	50.0%	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18.8%	25.0%	6.3%	50.0%	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

○この「保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における児童発達支援自己評価(公表)

公表：令和6年2月14日

事業所名：留萌中部地域子ども発達支援センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		十分なスペースは確保されている。	
	② 職員配置数は適切であるか	○		適切である。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特定に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		一部バリアフリー化はされているが、階段や段差等は見守りを徹底している。限られた環境の中でできる限り構造化や視覚支援を用いて子どもたちにわかりやすいように配慮している。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		療育前後に清掃、消毒し清潔に保たれている。建物が古く季節により寒暖差が激しいためその都度保護者に伝えながら子どもたちが活動しやすい空間作りを心がけている。施設の老朽化により雨漏り等対応に苦慮している。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		常に話し合いを実施し担当等に関わらず共通理解につなげている	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○		昨年度の結果や個別で受けた要望等をもとに業務改善につなげている	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページ等で公開している	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	○			
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		リモート研修、出張研修ともに参加できた。	
適切	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的な発達評価を実施し、保護者、関係機関と共に課題と目標、今後の関りをもとに計画を作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		半年に1度乳幼児発達評価を実施し、現在の状況を保護者と確認している。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個々の支援内容に沿って具体的な内容をわかりやすく設定している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援に関わるスタッフ全員が意識して支援を行っている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		年度初めや月、週等その都度チームで話し合いを行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
な 支 援 の 提 供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもの変化や成長に応じ、現在の状況と取り組み内容を記載し取り組んでいる。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		現在の発達や状況に応じ、子どもの思いに寄り添い、個別や小集団での活動を展開している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		活動のシュミレーションや設定の役割分担等、確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		個々に日誌を作成し、課題や変化等を共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		同上	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個別支援計画を作成し、現在の状況を保護者と一緒に確認し半期ごとに計画、見直しを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理者と、担当保育士が出席している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		その都度、保護者も含めて各関係機関と連携をとり行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			現在対象児がない。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			現在対象児はいないが、医療等に保護者の同意を得てケース連絡等を送付し、支援に対する助言を受ける体制は整っている。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の同意を得て、支援の経緯、課題等、保健師と共に引継ぎを行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		同上	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じ行っている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		併行通園している子が多いため交流はしていないがその都度職員が見学している。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		参加している	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		活動内容や目的等、直接保護者に伝えることや、お便りで伝え共通理解をもっている。	